

舞老連だより

第29号

第29号

令和7年7月26日(金)

舞老連事務局発行



舞老連創立60周年記念式典盛大に開催!!

＝伸ばそう健康寿命、担おう地域づくりを！舞老連益々の発展を＝

昭和39年10月30日、舞老連が「連絡協議会」として創立され、昭和55年6月には拠点である「文庫山学園」が竣工し、事務局が設置され、その体制がスタートしました。

多くの諸先輩のご努力により、舞老連は高齢者のよりどころとして発展してきました。創立60周年を記念して、記念式典を7月20日(日)13時より、舞鶴中総合会館にて100名を超える会員、市民の皆様のご参加で、司会を会員の安本政子さんをお願いし、盛大に開始されました。

オープニングセレモニーとして「社堂奥和太鼓会」の祝いの太鼓演奏で式典がスタートしました。勇壮な太鼓演奏で会員拡大に向け勇気を与えられたような気がしました。

開会にあたり、新谷会長から力強い挨拶がありました。「人は一人では生きていけません。いつかは誰かの世話になる時が来る。早く老人会に入りお互いに助け合う必要があります。舞鶴の全高齢者が老人会に入り、健康で相互支援の輪をひろげていこうではありませんか！」

会長挨拶の後、60周年記念特別功労者表彰が行われ、この10年間舞老連役員として活躍され、今なお現役役員として活躍されておられる11名の皆様が表彰されました。受賞者を代表して野原同好会の山下長司さんに会長から賞状と記念品が贈呈されました。

続いて、ご来賓からの祝辞を頂きました。舞鶴市長の鴨田秋津様、舞鶴市議会肝付隆治議長の代理として野瀬貴則副議長様、舞鶴市社会福祉協議会会長の荻野隆三様、京都府老連事務局長の田中美奈子様から心温まる期待のこもった激励のご挨拶を頂きました。

休憩の後、第2部の記念講演が行われました。岸和田市の西光寺御住職の寺尾昌治さんをお迎えし、「不思議なご縁にみちびかれて」という演題で、ご自身の生い立ちからそれぞれの時に多くの『縁』と出会い、自らが成長できたとそれぞれの時に関わりのある歌を三味線で演奏され、印象深いお話と演奏でした。講演の後は、日星高校の吹奏楽部・チアリーダー部の合同パフォーマンスが行われ、舞老連創立60周年を華やかに祝っていただきました。若いエネルギー溢れるパフォーマンスで、参加者も大感激でした。

＝創立60周年記念特別表彰者＝
長年の皆様のご苦勞に感謝いたします。
これからも舞老連の発展のためにご尽力願います。受賞された方は以下の通りです。おめでとうございます。(敬称略)

山下 長司 (野原同好会)

新谷 一幸 (多門院長生会)

高本 善哉 (堂奥長生会)

森下 義美 (大川ときわ会)

小和田宏子 (福来団地シニアクラブ)

岡安 昇 (東引土友愛クラブ)

村尾 昌治 (寿町長寿会)

小和田清二 (福来団地シニアクラブ)

寺島 均江 (上安久相生の会)

新田 繁邦 (吉原静溪会)

山田美恵子 (寿町長寿会)



※舞老連創立記念式典を無事終了することができました。関係の皆さんに感謝申し上げます。60周年記念誌を後日発行する予定です。詳細はそちらをご覧ください。(事務局)



～ みんなと話そう・考えよう ～

= 会員の増やし方のコツ・クラブの強み、弱みを知る =

令和 7 年度の府老連「市町村リーダー研修会」が 7 月 16 日に行われ、舞者連から 3 名が参加してきました。今回は会員拡大について初めてワークショップという形で行われました。

最初に、「はじめましてカード」に「自分の趣味」「会員拡大のためにやっていること」「今年度のイチオシ事業」「老人クラブに入って良かったこと」「入らない人の理由は？」といったことを自分なりに記載し自己紹介をしました。

私たちの強みや弱みは何か、老人クラブに入らない理由と入って良かった点を出し合いました。講師の話の後、「老人クラブすごろく」をしながら、老人クラブに入らない理由や入って良かったことなどを話し合いました。老人クラブに入って良かった点は「いろいろな人と交流でき知り合いが増えたこと」が多くの人を感じている事でした。入らない理由のトップには「役員をやらないといけない」が各グループであげられていました。



老人クラブの強みは、会員が入って良かったと感じていることが実際の魅力ということです。また、自分たちにとってのマイナス要素が入会の障害になる理由ですが、外部の人を感じている参加したくない理由や老人クラブに対する誤解について、誤解を解くことや障害となっている私たちの弱点を改善することが必要だと言われていました。**弱点や悪い点、誤解が分かれば「改善するだけ」**ということでした。良い面は広げ、悪い面は改善することです。

老人クラブに入って良かったことを魅力的に伝えること、具体的な体験談を紹介することです。私たちの弱みがあれば、参加しやすくする工夫をすること、悪い点を改善することが会員拡大のポイントということでした。皆さんも、**自分の単位クラブの良い点や悪い点・弱みを話し合い、**会員拡大に向けた「話し合い」をクラブの皆さんと始めてみましょう。



近畿ブロックリーダー研修会で 岡安事務局長が事例発表！

去る 6 月 26 日（木）に神戸市産業振興センターにおいて、「近畿ブロック老人クラブリーダー研修会」が開催されました。

基調報告は「老人クラブの現状と課題」と題して全労連常務理事の松島さんから報告がありました。

高齢者を取り巻く状況、老人クラブ活動と組織の状況、今後の老人クラブ活動などについて詳しく報告がされました。「老人クラブがどのような活動を行っているのか、その活動がどのような意義があるのか、について情報発信して『見える化』することが大切」と言われていました。

講演は「高齢期をどう生きるか」と題して神戸市シルバーカレッジ学長の前田潔さんから認知症の症状などの説明や生きがいを持つことの大切さ、コミュニケーションの必要性が強調されていました。

そのあと、分科会が開催され、第 2 分科会では「一人暮らし高齢者や認知症高齢者を見守る地域の連携について」という内容で、舞者連事務局長で東引土友愛クラブ会長の岡安が事例報告を行いました。内容は、単位クラブでの

「地域人つなぎ事業」として年間を通して会員訪問をしている活動について報告しました。多くの質問が出され慌てましたが、何とか説明できたと思います。（岡安）



【編集後記】 昨年の 10 月に舞者連創立 60 周年を迎え、記念式典は令和 7 年度に行うことになり、7 月 20 日に式典を開催することができました。鴨田舞鶴市長をはじめ来賓の方からお祝いのご挨拶をいただき、感謝で一杯です。また、オープニングを飾った「社堂奥和太鼓会」は出演が急遽 1 名減りましたが、4 人で素晴らしい演奏を披露してくれました。また、日星高校の吹奏楽部とチアリーディング部の合同パフォーマンスは 60 周年を祝う素晴らしいパフォーマンスでした。若い生徒たちの演技や演奏に涙が出るほど感激しました。メインの記念講演は講師の生い立ちを振り返っての内容で、三味線の演奏に乗せた歌声は張りのある、澄んだ歌声でした。感謝・感謝！（岡安）